

地域に誇りと愛着を持ち、たくましく生き抜く屋我地っ子の育成を目指して

沖縄県名護市	●活動名	●関係する学校名
	屋我地ひるぎ学園学校運営協議会	名護市立小中一貫教育校屋我地ひるぎ学園

協働活動開始年度	平成 30 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成30年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—			
	—	放課後子供教室	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	1人			1人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有	
	33人					
参考URL	http://sw.city.nago.okinawa.jp/vagaii-s/					



令和元年度 美ら島タイム(総合学習) 地域ガイドとアジサン観察(5年)

●連絡先	名護市教育委員会 学校教育課	☎ 0980-53-1212
------	----------------	----------------

●活動の概要・経緯
平成28年度から2年間の学校運営協議会設置推進検討懇話会活動を経て、平成30年に学校運営協議会を設置。「地域に誇りと愛着を持ち たくましく 生き抜く 屋我地っ子の育成」を基本理念に掲げ、「ひるぎネット」の学習支援部会・地域活動部会・安全環境部会と連携を取りながら、名護市教育委員会指定のコミュニティスクール実践研究指定校として取り組みの充実を図ってきた。主な活動として、●学習支援部会:「屋我地島で学ぶ」9年間、学びと育ちの宝島屋我地Islandの継続、美ら島タイム(総合学習)の支援 ●地域活動部会:「学校・地域連携カレンダー」の継続、地域のすべての字(あざ)への行事参加・地域貢献活動参加への支援 ●安全環境部会:PTA環境整備部とリンクした取り組み(朝の見守り活動、月1回の環境整備作業、夜間のパトロール)を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

総合的な学習の時間の取り組みとして、美ら島タイムがある。恵まれた地域資源を活用した体験的な活動や探究的な学習を通して、総合的に追及する方法を身に付け、地域の特徴や現状の中からより深めたい課題を主体的に設定し、多様な他者と協働して課題を解決するとともに、地域に対する誇りと愛着をもち、自己の生き方を考えることができるようになる授業づくりのサポートを全面的に行っている。

学年ごとに地域学習の内容は様々で、担当する地域の住民の方と教員が連携を取り、学びの狙いを共有しつつ、9年間の横断的な学習の場を協働して行っている。

【実施に当たっての工夫】

9年間で地域の方が授業や学校経営にどのように関わっているかを示した、「屋我地島で学ぶ」9年間、を作成。一目で学校、児童、地域のかかわりを理解できる一覧表があることで、学校経営に関わる全ての教員、保護者、地域住民が情報交換や連携を取りやすくなっている。地域の顔が見えることで、児童生徒を地域が見守り・育む、主体的な意識が年々高まっている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会にて授業の取り組み、地域行事との連携状況を共有し、企業、地域住民とより良い取り組み、連携が取れるように更なる協議を行っている。青少協や区長、青年会など、各地域の代表者が委員として委嘱されているため、それぞれの立場の意見を的確に協議に反映し、改善に取り組むことができている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 地域と連携した指導体制が評価され、児童・生徒の人数が増加傾向にある。(平成28年:99名⇒令和元年:158名)
- 学校アンケートの設問で、「自分には良いところがありますか」「人の役に立つ人間になりたいか」の問いに100%の児童が「はい」と答えている。年間を通じた地域学習、地域との協働活動を行うことで、地元其自然、地域資源に関する興味、を基礎とした自己肯定感が育まれている。

● その他

児童・生徒に対する「美ら島タイム」(総合的な学習の時間)の指導体制に、屋我地支所、愛楽園、名護博物館、JAおきなわ、美ら島財団、GODAC、名桜大学、沖縄高専、地域の企業や各公民館との連携が大きな役割を担っている。



令和元年 屋我地区 ボランティア活動



美ら島事業者との連携による みつばち教室(4年)